

2021年度 自己評価・施設関係者評価報告書

2022年

学校法人双葉学園 認定こども園ふたば文化

1. 双葉学園の教育理念

たくましく大地に根をはれ ふたばっ子!

たくましく…心も体も健康な子を育てます

大地に根をはれ…幼児期は人格の基礎づくりの時、根っ子の時代です。発達段階をしっかりと押え、幼児期には幼児期にふさわしい生活「遊び」を大切にします。

ふたば文化は、子ども達の樂園です

子ども達が主人公です。私たちは子ども達のためになることを、追及し続けます。

楽しくなければ子ども園ではない!

樂園であるからには、楽しくなければなりません。ふたば文化に関わるみんなが楽しめる子ども園を目指します。

2. 教育目標

めざす幼児像

- (1) 健康で元気な子
- (2) 友達と仲良く遊べる子
- (3) よく考えて行動する子
- (4) 最後まで頑張る子
- (5) 自然に親しみ思いやりのある子

めざす教師像

- (1) 健康で常に生き生きとして、子どもの為に力を出し切れる教師
- (2) 子どもの気持ちを理解し、一人一人の子どもを大切にする教師
- (3) 研究心に充ち、常に向上しようと協力する教師
- (4) 父母と協力し、教育に情熱を燃やす教師

3. 園内研修(本年度重点的に取り組む)の計画、目標/結果・評価

《テーマ》 「挨拶あふれる幼稚園」 ～目指せ!遊びのスペシャリスト～

前年度に引き続き、挨拶が溢れる幼稚園をメインテーマにした。挨拶はつねに、自分から進んで言えるような環境にする。遊びのスペシャリストは、色々な遊びを経験する事も大切だが、1つの遊びを遊びこむことによって、発展や主体的な姿が多く見られるようなねらいをもち、計画を立てた。

【園内研修の計画・目標についての評価結果】

挨拶溢れる幼稚園という事で、職員が率先して挨拶を心掛けた。挨拶をする中で、〇〇君おはよう! 〇〇ちゃんおはよう!! 等、名前をよんで挨拶しようと伝え、少しずつ浸透していき、挨拶が自然といきかうようになってきた。反省点としては、朝の挨拶はみんなで言い合えるが、園外に出た時や、バス登園でバスに乗り込んだとき等の挨拶はまだ自然とできていないので、これからも継続していきたい。

遊びのスペシャリストとして、各クラス、縄跳び、長縄・ドッチボール・お店やさんごっこ等の、遊びを1年間通して計画をたてた。縄跳びは、例年「できないからやらない。」と言って苦手意識を持ってしまい、なかなか取り組もうという気持ちを持ってない子がいた。跳ぶことから始めるのではなく、電車ごっこやバイクに見立てて遊び、縄に親しむ経験をたくさんできるように進めたことで、楽しみながら跳べるようになっていった。しかし、どのクラスも年間を通してという所では、単発的になってしまうときがあったので、月毎に計画をたてるべき等の反省点もある。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況/評価・結果

評価項目	集計結果	評価
園の方針・教育理念の理解と実践	81.1%	A
職員として	84.2%	A
安全管理	80.7%	A
保護者対応	83.3%	A
地域・園外活動	36.9%	D
保育・園内研修	66.2%	B
研修	60.2%	B
総合	79.1%	B

※各項目に、担任・補助・運転手・給食職員がチェックをし、その割合を集計して、各項目のパーセンテージを計算した。
 S…90%以上 A…80%以上
 B…60%以上 C…40%以上
 D…40パーセント未満 として評価を行った。

【自己評価からの評価・結果】

各クラス月に2回の動画配信を行い、子ども達の様子を見られるようにした。保育参観ができず、保護者が園に来ることが少なくなったので、とても好評だった。ただ、動画の為の保育にならないように、気をつけていきたい。子ども達の、普段通りの姿を伝えられるように工夫していく。

コロナの影響もあり、園外へのお散歩がとても少なくなった。状況をふまえながら、子ども達が自然に触れられるように、園外の散歩など来年度は積極的にいきたい。子ども達の体力低下も心配されるので、園外だけではなく、体を動かしてたくさん遊んでいきたい。

研修は限られた中でのものだったが、スキルアップの為に、リモートで受けられるものを各自探して受けた。しかし例年に比べると、機会は少なくなっているため、研修をうけたら、積極的に声を出し、成果をみんなで共有できるようにしていきたい。

今後取り組む課題

挨拶は引き続き、園全体が気持ちの良い挨拶で溢れるように心掛けていきたい。子どもの遊びでは、自由に遊ぶ中で、子ども達が伸び伸びしている反面、いつも同じ遊びだったり、発展しない事が多かった。今年度は年間を通して、1つの遊びの発展を計画したが、自由に遊んでいる時の声掛けや計画、発展するようなきっかけを、職員が提供する事が少なかった。常に、子ども達の毎日の遊びをよく見て、任せる時は任せて、停滞していたらきっかけを与えるなどして、常に子ども達の遊びを見ながら意識できるようにしたい。

次年度は、今年度あまりもてななかった異年齢の交流をテーマに進めていきたい。夏祭りが、子ども達が運営できるように、お店屋さんごっこで店員さんを経験し、言葉やお金のやりとりができるように計画を立てて行っていく。

5. 父母の会からの評価

2021年度施設関係者評価

2021年度父母の会会長、副会長より、日々の園生活を見ての施設関係者評価をいただきました。

◎2021年度 父母の会会長

兄弟2人、5年間、認定こども園ふたば文化でお世話になりました。

コロナの影響を受け、長男の時にできた行事が、次男の時に同様にできなくなり、親としてもどかしい思いをすることもありました。

一方で、先生方の保育に対する情熱と努力で、試行錯誤しながら「園の一年間」を再構築なさっていく過程を目の当たりにしたとも感じております。

それぞれの行事が「どうしても、これだけは、こどもたちに経験させたい、取り組ませたい、保護者にも見て欲しい、共有して欲しい、実感して欲しい。」という内容にブラッシュアップされていったように思います。

園が何よりも大切にしていたのは「毎日の生活」でした。園生活の中で、どろんこになって遊び、季節の歌を高らかに歌い、お友童と関わり、自然を楽しむことがこどもたちの成長に繋がっていました。

ふたば文化の特色である年中長児の混合クラス。お散歩の時には、年長児が年中児を守るように外側を歩きます。年中さんは年長さんの様子を見て「自分もこんな風に……」と憧れ、自分がしてもらったことを、年下の子たちに渡していく。そんな素敵な関係がありました。

また、困難に直面した時、アイデアと工夫で乗り越えていく先生方の姿を何度も見せて頂きました。

2021年度の年長児「お泊り保育」は、コロナ感染防止の為に、日帰りの「ふたば保育～夜までがんばるぞ！～」になりました。先生方が「お泊りできないぶん、みんなのやりたいことをやろう！」とこどもたちの希望を聞いて下さり、キャンプファイヤーの他に、園庭でバーベキューと花火をすることに。次男は今でも昨日のこのように「みんなで花火楽しかった」と話します。特別な思い出として強く心に残っているのでしょう。

園バスが故障して長く修理をした時のことも印象に残っています。やってきた代車は味気ないハイエース。バス大好き次男はしょんぼり。しかし、翌日の朝は、マグネットシートで手作りされた『ふたばぶんか』の文字とお花の飾りで彩られ、すっかり『ふたばの園バス』に変身したハイエースが家の前に！次男は目を輝かせて乗り込んでいきました。

ピンチをチャンスに変えてしまう！ふたばの先生方は本当にすごいです。

コロナ禍での園生活は、困難な場面が沢山あったと思います。身近な大人がどう考え、どう動くか、どう乗り越えたかを間近でみていたことは、こどもたちにとって必ず人生の糧になる、そう思っています。

さらに、ふたばの先生方はとっても元気です。いつもにこにこ笑顔で、こどもたちと思いっきり遊んで下さいます。こどもたちに寄り添い、一緒に考えて下さいます。

園生活のあらゆる場面で、先生方が、こどもたちひとりひとりに対して、ハイタッチやギュー、あくしゅ、じゃんけん、おんぶにだっこ、たかいたかい！いろいろなやりかたで、「だいすきだよ」と伝えて下さいました。

子どもたちの心に「だいすき」の栄養をたっぷりと注いで下さっていることをいつも感じていました。

たくさんの楽しかった思い出と、際限なく愛された経験が、これからずっと子どもたちの心の支えになると確言しております。素晴らしい先生方に囲まれて、大事な幼児期を過ごせたことに、心から感謝致します。

本当にありがとうございました。

◎2021年度 父母の会副会長

年中長からの異年齢混合クラスは、お友達同士助け合い年少児へ思いやる気持ちが自然と芽生える良い環境に思える。普段の決め事も、主に園児たちに任せているようで先生方は困ったときに手助けして下さいているとのこと。園から配信される動画やスライドショーでは、お友達同士で思いっきり楽しむ姿や先生方へ信頼している表情が感じとられ、保護者としても安心して園に子供を預ける事が出来る。

公共のプールやイベント等を気軽に楽しむことが難しい中、園では殆どの行事を実行して下さいした。泥遊び・プール・ザリガニ釣り・ふたば保育・運動会・登山・おいも掘り・発表会・クリスマス・餅つき・コマ回し大会・縄跳び大会・作品展・観賞会等。これらのすべては女性の先生方の細やかさ、男性の先生方の力強いサポートと周到な計画、準備と対策を真剣に考慮して下さいしたからこそ実現できたことだと心から感謝している。

これからも素晴らしい環境の中で先生方に見守られ「子供達の楽園」でたくさんの園児たちが元気にすくすくと育っていくことを心から願いたい。

たのしい幼稚園の運営の為に、私たち職員は今後も日々子どもたちの立場に立って、よりよい環境となるように努力していきます。

認定こども園ふたば文化 園長 小倉みどり